

第6次高松市 総合計画

活力にあふれ 創造性豊かな
瀬戸の都・高松 2016-2023



高松市

御 挨 拶

本市は、北は多島美を誇る瀬戸内海に臨み、都市機能の集積した都心部、緑豊かな郊外部を経て、南は讃岐山脈を頂く、風光明媚な海園・田園都市であり、これまで香川県の県都として、及び広域都市圏の中心市として、さらには、四国の中枢管理都市として、発展を続けてまいりました。



私たちは、本市のこうした豊かな自然と都市機能が調和したコンパクトで暮らしやすいといった特長や、我々のアイデンティティを育んでくれる温暖な気候がもたらす良好な環境をいかながら、活力を失わず、誰もが暮らしたい、訪れたいと思えるような魅力あるまちとして、本市を次世代に継承していかなければなりません。

今、我が国は、本格的な人口減少、少子・超高齢社会を迎えており、それぞれの自治体には、人口減少対策を講じながら地方創生を図っていくという困難な課題への対応が求められております。

また、現代社会は、その成熟に伴って、一人一人の多様性を尊重しようとする意識が高まるとともに、人と人の絆の大切さが再認識されてきており、市民一人一人が個人として尊重されながら、地域との関わりを広げていくことができる、老若男女の笑顔あふれる元気な地域社会の形成を図っていく必要があります。

このような状況の下、策定いたします第6次総合計画は、市民の皆様と行政のこれからのもちづくりについての共通の指針として定めたもので、「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」の実現を目指し、6つのまちづくりの目標を設定しております。

この計画に基づき、市民と行政が協働しながら、一つ一つの課題の克服に取り組み、新しい展開を図っていくことで、本市の魅力と輝きを更に発展させ、まちの未来を支える子どもたちに誇れる高松市を築き、将来に引き継いでいきたいと考えております。

最後に、本計画の策定に当たりまして、精力的かつ真摯な御審議を賜りました、総合計画審議会委員の皆様を始め、様々な世代の参加者が自由に活発な意見交換を行ったラウンドテーブルや市民と市長との意見交換会、パブリック・コメントなどを通じて、貴重な御意見、御提言をいただきました多くの市民の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成28年3月

高松市長 大西 秀人

目 次

序 論

1	総合計画策定の目的	1
2	総合計画の名称、位置付け	1
3	総合計画の構成	2
4	総合計画の期間	2
5	総合計画の対象区域	2
6	本市を取り巻く環境	3
7	時代の潮流	5
8	人口の推移	7
9	財政状況（一般会計）	9
10	総合計画の基本的考え方	11

基本構想

1	目指すべき都市像	13
2	目標年次	14
3	まちづくりの目標	15
4	施策の大綱	17
5	人口減少、少子・超高齢社会への対応	29
6	総合計画の推進	31

施策の方針

1	健やかにいきいきと暮らせるまち	33
2	心豊かで未来を築く人を育むまち	51
3	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	71
4	安全で安心して暮らし続けられるまち	93
5	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	127
6	市民と行政がともに力を発揮できるまち	141

総合計画の推進

1 総合計画の推進

155

付属資料

・第6次高松市総合計画策定経過 165

・第6次高松市総合計画（仮称）基本構想案について（諮問） 167

・第6次高松市総合計画（仮称）基本構想案について（答申） 168

・高松市総合計画審議会委員名簿 172

・ラウンドテーブルの開催結果 173

・用語の解説 178

